

2025 年 5月 22 日

登録教習機関 各 位

一般社団法人 全国登録教習機関協会
専務理事 佐々木 元茂

第 1 回 フォークリフト運転技能講習（初任時）講師技能向上研修開催のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の実施する研修につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、標記研修の開催を下記により実施することといたしましたので、ご案内をいたします。

優れた内容と質の高い技能講習を受講者に提供することは、登録教習機関として重要なテーマです。この研修は新任講師（初任時）を対象として、講師の技能向上をめざした研修としておりますが、講師経験年数に係わらず対象を広げてお申込みいただき、貴機関の教育方法の見直しや改善にお役立ていただくよう、多くの方々のご参加をお待ちしています。

なお、ご参加いただきました皆様には、当協会で作成しましたフォークリフト運転技能講習実技指導要領テキストと DVD 補助教材を進呈しますので、貴機関での講師研修会等で実技指導の統一化のためにご活用いただけるものと考えます。

【この研修の主な内容】

① 目 的

- ・講師としての基礎的な知識と情報の入手
- ・学科／実技の教え方の習得と指導能力向上
- ・登録教習機関の講習内容の充実とレベル斉一化

② 研修の内容

【学科】・各種教育技法及びインストラクション技術の向上

- ・メーカー講師による最新機械及び安全装置の情報
- ・講師に求められる各章の専門知識
- ・関係法令体系の再確認と効果的な講習方法
- ・災害事例研究とリスクアセスメント演習

【実技】・全登協「実技指導要領」に基づく効果的な指導方法

- ・フォークリフトの操作・点検方法
- ・採点方法、減点基準の通達の確認と採点演習
- ・グループ討議を通じた採点方法の再確認と採点方法斉一化

記

1. 研修期間 2025年9月4日(木) 9:00~17:00
2025年9月5日(金) 8:30~16:00
2. 開催場所 (株)日本オペレーター協会 大阪特殊自動車学校
〒575-0012 大阪府四條畷市下田原 2211
アクセス：別添1の案内図を参照ください。
3. 定員 20名
4. 研修内容 別添2の「研修スケジュール」を参照ください。
5. 受講料 会員価格 40,000円(教材費、消費税を含む)
非会員価格 65,000円(同 上)
6. 申込方法及び問合せ先
【申込期限】 2025年7月25日(金)
【申込方法】
 - ・当協会ホームページの開催案内に掲載している「入力フォーム」から必要事項を入力してお申し込みください。
 - ・受講申込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。
 - ・研修初日終了後の復路(研修会場→寝屋川トレンドホテル)及び研修2日目の往復(寝屋川トレンドホテル→研修会場→四條畷駅)の送迎バスを準備致しますので、ご利用の方は送迎バス利用『有』にてお申し込み下さい。研修初日の研修会場への移動に関しましては、各自にてご手配下さい。なお、四條畷駅より大阪特殊自動車学校様のスクールバスも利用可能となっておりますのでご利用ください。スクールバス利用される場合は、送迎バス利用『無』にてお申し込みください。**【問合せ先】**
一般社団法人 全国登録教習機関協会
〒108-0014 東京都港区芝 5-27-14 小川ビル 6F
TEL:03-3456-4787 FAX:03-3456-1304
E-mail: kenshu@zentokyo.or.jp 担当: 研修G 和田
7. 宿泊
宿泊が必要な方は 各自で手配をお願いいたします。
【ご参考】最寄りのホテル
『寝屋川トレンドホテル』
<https://neyagawa-trend.com>
 - ・住所: 〒572-0819 大阪府寝屋川市大成町 7-7
(京阪本線寝屋川市駅より徒歩 18 分、タクシーで 5 分)
 - ・電話: 072-821-5050

＊研修初日当日は、所定の時間までに各自、研修会場にご参集ください。
研修初日終了後から、大阪特殊自動車学校様のご厚意で、同校のバスでの送迎を予定しております。詳細は後日連絡予定の受講案内メールに記載予定です。

8. 服装 及び 携行品 等

(1) 服装等：

実技研修を行いますので、実技に相応しい以下のものをご用意下さい。

- ・作業服・**安全靴**・手袋 など（ヘルメットは実施教習機関より借用可）

(2) 携行品：筆記用具 等

9. 昼 食

昼食（お弁当：500 円・お茶なし）を、必要な方は手配します。詳細は申込者宛の受講案内に記載予定です。不要な方は各自で準備下さい。

（近くにコンビニ等はありませんのでご注意ください）

10. 受講案内の連絡

原則として、開講日の約 10 日前までに受講を申し込まれた際にご入力いただいたメールアドレス宛に添付・送信させていただきます。

11. 受講料の支払方法等

- ・適格請求書を発行いたします。
- ・受講料は、開催日の 2 週間前までに、下記の口座にお振込願います。
なお、お振込み手数料は貴機関にてご負担願います。

振込先：みずほ銀行 芝支店 普通預金 口座番号 2890991

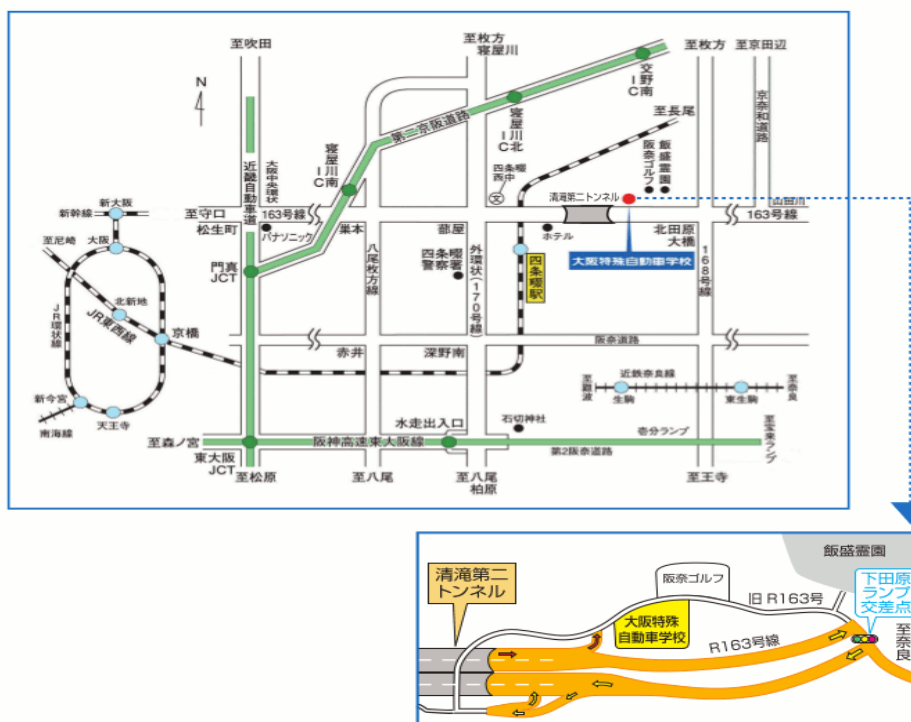
口座名義 一般社団法人 全国登録教習機関協会

シャゼ ソコウトウキョウシユツカキョウカイ

- (1) 都合により入金が遅れる場合はご連絡ください。
- (2) 銀行振込みの場合は、振込金受領書をもって領収書に代えさせていただきます。
- (3) 申込内容等の変更（受講者の変更等）の場合には、当協会にご連絡ください。
- (4) キャンセルに関して
原則として開催日の1 週間前以降のキャンセルに伴う参加費返納に関しましては応じかねますので、ご了承ください。
※除く当方の都合で中止・延期・他の研修への振替

以上

交通案内図



●お車で越しの場合

大阪市内から R163号線、松生町交差点(大阪中央環状線)より東、木津川市方面へ約10km。清滝第二トンネルを抜け、すぐに左側道に入る。T字路を右折。(旧 R163号線沿い、阪奈ゴルフ場向い)
京都、奈良から R163号線、木津川市より西、大阪方面へ約10km。「下田原ランプ交差点」を清滝・阪奈道路方面に直進。(旧 R163号線沿い、阪奈ゴルフ場向い)

○第二京阪道路ご利用の方

和歌山方面から近畿自動車道(門真JCT)を経て「寝屋川南IC」からR163号線を左折し、清滝第二トンネルを抜け、すぐに左側道に入る。T字路を右折。(旧 R163号線沿い、阪奈ゴルフ場向い)
京都方面から「寝屋川北IC」から外環状170号線(南行き)を直進。部屋交差点を左折し、R163号線に入る。清滝第二トンネルを抜け、すぐに左側道に入る。T字路を右折。(旧 R163号線沿い、阪奈ゴルフ場向い)

○阪神高速ご利用の方

13号東大阪線「水走」を出てすぐに左折し、外環状170号線(北行き)を直進。部屋交差点を右折し、R163号線に入る。清滝第二トンネルを抜け、すぐに左側道に入る。T字路を右折。(旧 R163号線沿い、阪奈ゴルフ場向い)
[注意]朝の時間帯のR163号線、外環状170号線はよく渋滞します。時間に余裕を持ってお越し下さい。

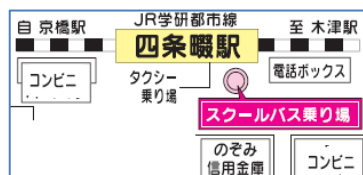
鉄道アクセス

JR京橋駅より快速電車で約 12 分、普通電車で約 20 分

JR学研都市線の四条畷駅を下車。東出口より当校のスクールバス(無料)

スクールバス乗り場

JR学研都市線の四条畷駅より、定期運行しています。スクールバスには「大阪特殊自動車学校」と表示しています。学校までの所要時間は約 15 分です



スクールバス時刻表

四条畷駅	学校発
7:20	9:15
7:40	10:15
8:00	11:15
8:30	12:15
9:30	14:15
10:30	15:15
11:30	15:50
12:30	16:40
14:30	※17:35、18:05
15:30	※18:40

※印のスクールバスは技能講習終了時間に応じて発車時刻を前後する場合があります

		講 師 等	研修時間
第 1 日 目 (学 科 研 修)			
1	開講式及びオリエンテーション	事務局	9:00～9:10 (0:10)
2	自己紹介	(全 員)	9:10～9:30 (0:20)
3	講師の役割と教育技法の活用 ① 講師の役割とは ② 教育技法とは	全登協講師	9:30～10:00 (0:30)
4	インストラクション技術の向上について ① インストラクション技術習得の必要性 ② 効果の高い講習を行うためには	同 上	10:00～10:30 (0:30)
休 憩			10:30～10:40 (0:10)
5	教科目別の教え方について ① インストラクターに求められる専門性を習得する ② 各科目ごとの重要ポイントを習得する ◆第1章～第4章	同 上	10:40～11:40 (1:00)
休 憩 (昼 食)			11:40～12:30 (0:50)
6	教科目別の教え方について ① インストラクターに求められる専門性を習得する ② 各科目ごとの重要ポイントを習得する ◆第5章～第8章	全登協講師	12:30～13:40 (1:10)
休 憩			13:40～13:50 (0:10)
7	フォークリフトの専門知識 ① フォークリフトの構造と特徴 ② フォークリフトの安全対策	(株)豊田自動織機 麻生 講師	13:50～15:20 (1:30)
休 憩			15:20～15:30 (0:10)
8	第10章 関係法令・災害事例	全登協講師	15:30～17:00 (1:30)
第 2 日 目 (学 科 ・ 実 技 研 修)			
1	オリエンテーション	事務局	8:30～8:40 (0:10)
2	第9章 フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識 (Ⅰ)	全登協講師	8:40～9:40 (1:00)
	休 憩		9:40～9:50 (0:10)
	第9章 フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識 (Ⅱ)	全登協講師	9:50～10:50 (1:00)
	休 憩		10:50～11:00 (0:10)
1	点検と整備、荷役・走行の基本操作 (実 技) (1) 点検と整備 ① 装置の名称と役割説明 他 ② 作業開始前・終了時点検箇所と点検内容と留意事項 (2) 走行と荷役の基本操作 ① 走行操作の要領説明と実演 (走行・停止・駐車) ② 荷役操作の要領説明と実演 (積み取り・積み降ろし) ③ 走行・荷役に係わる合図と確認要領	大阪特殊自動車学校 実 技 講 師 全登協講師	11:00～12:00 (1:00)
休 憩 (昼 食)			12:00～12:50 (0:50)
2	実技採点の進め方の確認 (実 技) ① 「減点基準」の説明 (DVDにて) ② 講師による実技模範演技 ③ 講師による (故意にミスした) 実技演技による採点実習	同 上	12:50～13:50 (1:00)
休 憩			13:50～14:00 (0:10)
3	実技採点演習 ① 講師による「実技演技」の受講者全員による採点演習 ② 「各自の採点結果」をグループにて討議・取纏め・発表 ③ ビデオによる「実技演技」再現と減点箇所の再確認 ※ 再確認により採点基準 & ポイント等の斉一化を図る	(全 員)	14:00～15:30 (1:30)
休 憩			15:30～15:40 (0:10)
4	総括質疑 (アンケート記入含む)	(全 員)	15:40～15:50 (0:10)
5	閉講式・修了証交付	事務局	15:50～16:00 (0:10)

フォークリフト運転技能講習（初任時）講師技能向上研修カリキュラム

（研修のねらい）

この研修は、登録教習機関における講師経験3年未満の新任（初任）の講師を対象として、技能講習の学科と実技の両科目について、講師として身につけるべき基礎的な素養及び知識を習得することを目的とする研修です。

（到達目標）

この研修を通じて、フォークリフトに関する基礎的・専門的な知識や情報（研修担当講師の経験値等）・教え方を体得したうえで、この教科目をスムーズに解かり易く教えることができること。

（第1目）学 科 研 修			
	研 修 科 目	研 修 内 容	時 間
1	オリエンテーション (学科研修カリキュラムの全体構成、各研修科目のねらいと内容を概説する。)		10 分
2	自 己 紹 介		20 分
3	講師の役割と教育技法の活用	① 各種教育技法の種類と有効性について解説し、学科講習で採用する場合のメリット・デメリットを習得する。 ② 教育技法を使用して学科講習を行う場合の進め方とその効果について解説・習得する。	30 分
	インストラクション技術とは	① インストラクション技術とは何か？目的・意義を解説し、インストラクション技術向上の必要性を理解・習得する。	30 分
休 憩			10 分
4	教科目別の教え方 1 章 フォークに関する基礎知識 2 章 原動機について 3 章 走行装置の構造と機能 4 章 走行装置の運転方法	① インストラクターに求められる専門知識（各教科目（章）毎の重要ポイント・注意事項等）について解説し・習得する。 ※各種装置の構造・機能に関する基礎知識 ※走行操作の心得 等	70 分
休 憩（昼 食）			50 分
5	教科目別の教え方 5 章 荷役装置の構造と機能 6 章 荷役装置の操作方法 7 章 点検・整備 8 章 安全装置と作業時の安全の心得	① インストラクターに求められる専門知識（各教科目（章）毎の重要ポイント・注意事項等）について解説し・習得する。 ※点検・整備の意味（必要性）と留意事項 ※安全装置等の目的と作動原理等 ※荷役作業の心得 等	60 分
休 憩			10 分
6	最新のフォークリフトに関する専門知識	① フォークリフト基礎知識（歴史）や、最新機種の新技術などの現状を紹介する。 ② 安全装置等の変化の推移と構造的特徴（目的と作動原理等）を紹介・解説する。 ③ 点検・整備等のポイント・要領	90 分
休 憩			10 分

7	第10章 関係法令・ 災害事例研究	① 「関係法令」講義時、特に受講者に伝えておきたい法令等を紹介する。 ② 災害事例研究の必要性及びリスクアセスメントの手法を概説する。	90分
(第2日目) 学 科 研 修			
1	オリエンテーション (2日目の学科・実技研修の目的・研修の進め方を説明する。)		10分
2	フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識(Ⅰ)	インストラクターに求められる専門知識(フォークリフトの運転に必要な力学)に関する重要ポイント・注意事項等を習得する。	60分
	休 憩		10分
	フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識(Ⅱ)	インストラクターに求められる専門知識(フォークリフトの運転に必要な力学)に関する重要ポイント・注意事項等を習得する。	60分
休 憩			10分
(第2日目) 実 技 研 修			
1	点検・整備 装置の名称と役割	① 作業開始前・終了後の点検箇所・点検内容及び点検の重要性・留意点を実機にて解説する。 ② 装置の名称と役割を実機にて解説する。	60分
	走行&荷役の基本・応用操作	① インストラクターによる走行・荷役の基本操作・応用操作の模範演技を行う。 ② 各受講者間における情報交換を行う。	
休 憩(昼 食)			50分
2	実技採点の進め方	① 実技試験の採点は通達により「減点基準」が定められており、それらの再確認(DVD映像にて)と各登録教習機関における「減点基準」に係る差異に関する情報交換を行う。	60分
休 憩			10分
3	実技採点演習	① インストラクターが故意にミスをした「演技」を行い、受講者全員が全登協編の採点表に基づき採点を実施する。 ② グループに分かれて減点結果の差異について、その要因等の分析討議をする。 ③ インストラクターは、故意にミスした「演技」を録画映像にて再現し、見落とし箇所の再確認を行い、採点基準の斉一化を図る。	90分
休 憩			10分
4	総括質疑		10分
5	閉講式・修了証交付		10分